

まなびあい

第2号 令和6年12月10日（火）三芳小学校CS事務局

令和6年8月21日（水）、三芳小学校会議室にて、第2回学校運営協議会を開催しました。

第2回協議会では、以下の話し合いを行いました

(1) 1学期振り返り

運動会や本校の特徴的な活動であるビオトープ活動、まなびあいの時間について、写真を見ながら振り返りました。運動会の実施方法・対応など、様々なご意見をいただきました。

(2) 前期学校評価について

学校の教育活動における成果と課題について、保護者評価と教職員評価を確認し、話し合いました。あいさつ等の課題について検討し、懇談会の実施方法についてもご意見をいただきました。

(3) 2学期の行事予定について

2学期実施予定の学校行事予定について確認しました。水泳授業の民間委託について、実施方法等の詳細について話し合いました。

(4) 三芳小学校のきまりについて

「小学生らしいみだしなみ」について話し合いました。

(5) 放課後子ども教室について

来年度から実施予定の放課後子ども教室について確認しました。

- (4) 三芳小学校のきまりについて
 - (5) 放課後子ども教室について
- 詳細は裏面にて！

特集を
ご覧ください！



特集

協議「小学生らしいみだしなみ」とは

子供も保護者も、そして教職員も…

多様化する価値観 そのさなかで育つ子供たち

「小学生らしいみだしなみ」とはいったい何か

答えの出ない課題に 改めて向き合いました

委員のみなさまに伺いました

「学校のきまり」について、
本校では児童に「小学生らしいみだしなみ」をするよう伝えています。
では、「小学生らしいみだしなみ」とは？ — ご意見ください。

～「小学生らしいみだしなみ」をどう考えるか～

現代は多様性の時代
大人たちも一人一人、
感覚には個人差がある。
あつかいが難しい。

ピアスや染髪をする子供は、
親の感覚によるところが大
きいのでは？

金髪やタトゥーなど、
子供でも見かけるようになった

～「小学生らしいみだしなみ」をどう実現するか～

「そういう格好はしません」と
言って、実際にしてきた子供に
どう対応するかが難しい。
個人の対応ではなく、町で話し
合って統一するべきでは？

子供支援のまえに親の支援が必要。
保護者との信頼を深め、保護者自身で
考えてもらうような流れにしたい。
信頼関係が大事です。

放課後子ども教室 について

三芳町は令和7年度より、町内全小学校区での放課後子ども教室実施を目指しています。放課後子ども教室とは、地域の多様な力を生かしながら、様々な学び・体験活動等を実施することで、子供たちへ放課後の居場所を提供することを目指す事業です。実施場所は学校ですが、学校行事ではなく、社会教育課が行う事業です。